

# 戦国肥後国衆まつり

2月14日(日)和水町多目的広場で第33回戦国肥後国衆まつりが開催され、町内外からたくさんの方々が参加しました。

祭りの最大の催し物である「武者行列と一揆の再現」では勇壮な鎧姿の武者たちが入場すると会場は一斉に緊張した空気が流れました。鉄砲隊が打ち合う爆音を合図に、総勢60人の武者たちが壮絶な戦いを再現する姿に観客はかたずを飲んで見入っていました。他にも様々な催しがありました。

プログラムは次のとおりです。

- オープニング
- 鼓笛演奏(神尾保育園)
- 舞踊(あおば保育園)
- せせらぎ大鼓(春富保育園)
- 創作「軍弥呼の舞」(吉崎 真美さん)
- マンドリン演奏(熊本マンドリン・アンサンブル「アクア」)
- 子ども修羅レース
- 肥後にわか(和水町青年団)
- 特別出演 肥前夢街道大道芸人 ショー お笑い江戸曲芸(米ちゃん)
- 南蛮毛物語、武者行列と一揆再現(豊臣軍勢対和仁軍勢)

- 先陣修羅レース
- エイサー演舞(九州看護福祉大学エイサー隊「華莉(かり)踊子(ゆし)」)
- お楽しみ抽選会
- 紅白餅投げ
- 閉会

1日をとおして見ごたえたっぷりのプログラムに合わせて、会場にはたくさんの方々の団体も来店し、来場者は心行くまで楽しんでいました。

天正十五年十月二十八日 今蘇る 肥後国衆一揆

# 武者の意地



## 戦国肥後 国衆一揆とは

天正15年(1587)豊臣秀吉の九州平定により肥後の領主となった佐々成正が行った検地などの強引な政策に抵抗して、肥後各地の国衆たちが一揆を起こした。これが“肥後国衆一揆”といわれるものです。

しかし、これに激怒した秀吉は、九州支配の今後のみせしめとして、筑前・筑後の大名に命じて攻撃をかけ、肥後各地の国衆を滅ぼしていくなか、和仁氏は迎春氏とともに、田中城に籠城して抗戦した。小早川秀包を総大将とする安国寺、立花、鍋島などの1万の軍に対し、1千あまりの軍勢で最後まで激しく抵抗したが、約2ヵ月後、最後の一兵までも滅ぼされてしまった。

秀吉はこの一揆の後、全国に「刀狩令」を發布したといわれている。これが今もなお日本歴史上大きく位置づけられている「田中城の戦い」である。

※国衆とは戦国時代各地の守護大名は幕府の政治のため京都にすることが多く、領国の支配は守護代や土豪が次第に力を伸ばし、各地で中小の土豪が寺領を拡大、自衛していった武士集団のことである。和仁氏は肥後五十二人衆の一人だった。



▲観客も大笑い青年団による「肥後にわか」



▲開会式



▲お笑い江戸曲芸



▲オープニングは神尾保育園



▲南蛮毛物語



▲あおば保育園による舞踊



▲一揆の再現



▲春富保育園によるせせらぎ太鼓披露



▲迫力満点 修羅レース



▲創作「卑弥呼の舞」



▲司会は英太郎とMEG



▲子ども修羅レース



肥後一揆